

令和6年度串間市水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和6年度串間市水道事業会計予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数	7, 809戸
(2) 年間総給水量	1, 586, 000m ³
(3) 一日平均給水量	4, 345m ³
(4) 主要な建設改良事業	
都井地区配水池耐震化事業	23, 600千円
単独事業(配水管布設替等)	152, 463千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款 水道事業収益		521, 921千円
第1項 営業収益		368, 866千円
第2項 営業外収益		153, 055千円

支 出		
第1款 水道事業費用		477, 977千円
第1項 営業費用		444, 729千円
第2項 営業外費用		29, 577千円
第3項 特別損失		671千円
第4項 予備費		3, 000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額262, 565千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額14, 280千円、過年度分損益勘定留保資金248, 285千円で補填するものとする。)

収 入		
第1款 資本的収入		55, 838千円
第1項 企業債		16, 400千円
第2項 国庫補助金		7, 110千円
第3項 他会計補助金		27, 500千円
第4項 他会計負担金		4, 828千円

	支	出
第1款 資本的支出		318,403千円
第1項 建設改良費		189,922千円
第2項 企業債償還金		126,481千円
第3項 予備費		2,000千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
	千円		%	
都井地区配水池耐震化事業	16,400	証書借入 又は 証券発行	2.0 以内	40年以内(据置期間を含む。)において、元利均等又は元金均等に償還する。ただし、企業財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は低利に借換えをすることができる。 その他、融資先の条件による。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用と営業外費用 2,000千円

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 36,485千円

(他会計からの補助金)

第8条 旧市営簡易水道にかかる経費を補填するため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は131,141千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第9条 たな卸資産の購入限度額は、7,141千円と定める。

令和5年度 串間市水道事業会計の決算概要

1. 概 況

(1) 総括事項

イ 業務状況

本年度末における給水人口は、行政区域内人口 16,306 人に対し、15,054 人となり前年度より 507 人減少し、給水戸数は 7,833 戸で前年度より 86 戸減少しました。年間総配水量は 2,024,057 m³で前年度より 47,172 m³ (2.28%) 減少し、年間総有収水量は 1,671,332 m³となり、前年度より 15,506 m³ (0.92%) 減少しました。有収率は 82.57%となり前年度より 1.13 ポイント上回る結果となりました。

ロ 財政状況

収益的収支については、収入額は 456,687,488 円（消費税抜き）と前年度より 74,276,690 円（13.99%）減少し、支出額は 443,634,498 円（消費税抜き）と前年度より 17,157,577 円（4.02%）増加しました。収益的収入が減少した主な要因は、統合簡易水道に係る経費に伴う補助金が減少したことによるものです。収益的支出が増加した主な要因は、業務委託料等が増加したことによるものです。この結果、本年度の損益収支は 13,052,990 円の純利益となりました。

資本的収支については、収入額が奈留地区水道整備事業に伴う国庫補助金 37,220,000 円、企業債 46,300,000 円、他会計出資金 31,000,000 円、統合簡易水道に対する他会計補助金 62,992,000 円、消火栓設置等に伴う他会計負担金 4,867,000 円で収入総額 182,379,000 円に対し、支出額が奈留地区水道整備事業に伴う工事請負費等 117,833,000 円、単独事業の配水管布設替工事等 104,693,752 円、企業債償還金 139,886,867 円で支出総額 362,413,619 円となっております。

この結果、資本的収支において資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 180,034,619 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 12,593,026 円、過年度分損益勘定留保資金 167,441,593 円で補填しました。

ハ 建設改良事業

水道未普及地域解消事業奈留地区配水管布設工事等 22 件の工事を実施し、本年度実施した水道管の工事延長は 1,645.83mとなりました。

決算の概要は以上のとおりですが、今後とも経費の節減を図りながら経営安定の向上に努め、「安全で、安心な水道水を、安定して供給する」ため、老朽施設等の更新整備に積極的に取り組んでまいります。

貸借対照表（決算）

令和6年3月31日現在

資 産 の 部	金額（千円）	負債資本の部	金額（千円）
1 土地	106,303	1 建設改良等の財源に充てるための 企業債（固定負債）	1,205,160
2 建物	249,116	2 退職給付引当金	38,153
3 構築物	4,070,259	3 修繕引当金	1,895
4 機械及び装置	622,095	4 特別修繕引当金	50,584
5 車両運搬具	3,201	5 建設改良等の財源に充てるための 企業債（流動負債）	126,480
6 工具器具及び備品	3,353	6 未払金	30,696
7 リース資産	0	7 賞与引当金	1,638
8 建設仮勘定	221,839	8 法定福利費引当金	338
9 電話加入権	14	9 預り金	1,398
10 ソフトウェア	0	10 繰延収益	964,415
11 その他の投資	191	11 固有資本金	425,262
12 現金・預金	540,334	12 繰入資本金	1,720,504
13 未収金	107,671	13 組入資本金	1,137,353
14 貸倒引当金（△）	△ 167	14 国庫補助金	12,123
15 未収消費税	0	15 工事負担金	0
16 貯蔵品	4,924	16 受贈財産評価額	33
17 前払金	0	17 前年度繰越利益剰余金（△は欠損金）	200,048
		18 その他未処分利益剰余金変動額	
		19 当年度純利益（△は損失）	13,053
合 計	5,929,133	合 計	5,929,133

損益計算書（決算）

令和6年3月31日現在

費 用 の 部	金額（千円）	収 益 の 部	金額（千円）
1 原水及び浄水費	43,297	1 給水収益	346,952
2 配水及び給水費	37,828	2 その他の営業収益	7,894
3 総係費	94,984	3 受取利息及び配当金	540
4 減価償却費	230,615	4 他会計補助金	45,727
5 資産減耗費	12,995	5 長期前受金戻入	50,373
6 支払利息及び企業債取扱諸費	22,049	6 給水加入金	4,545
7 雑支出	128	7 雑収益	636
8 過年度損益修正損	5	8 他会計負担金	20
9 その他特別損失	1,733	9 過年度損益修正益	0
		10 その他特別利益	0
当年度純利益	13,053		
合 計	456,687	合 計	456,687